

上棟式祝詞

掛け巻くも畏き親神天理王命の御前に慎み敬い
恐み恐みも白さく

この度 市 区 丁目 番地

号なる 講はも 親神の奇しく妙なる御恵
みを嬉しみ奉り辱けなみ奉りて長の年月に亘るこ
れのお道の信仰も慚く稔り 商店としての家
業も日に月に栄ゆく中 古く朽ちかけし店を取り
こぼち建築主を 氏となし 一同心を揃え
相謀り鉄骨 階建 延 平方米なる普請
を 工業株式会社 施工のもと新たに設け奉ら
んと 過ぎし 月 日土地鎮めの業つとめ奉
りしが 事始めたる工事順序正しく滞うる事なく
彌進みに進みて今し棟材一取り上げんばかりに成
りにたるを以て今日を生日の足日と上棟の儀式執
り行うと 先ず事の由を告げ奉らくを御前に御酒
御食海川山野の種々の味物を置き高成して捧げ奉
らくを甘らに安らに聞食し諾い給いて家族親族諸
人達が諸手に取る綱根の只一筋に曳き上げ奉る棟
材の緩みなくやがて取付けむもろ／＼の材料の損
ない動き鳴る事無く守り幸え給い 豫め定めたる
設計のまに／＼平けく安けく竣功えしめ給い併せ
て形のふしんに伴い心のふしんの成果もひとときわ
高く大きく挙げしめ給えと恐み恐みも乞祈み奉ら
くと白す